

平成28年度 大田区立大森第六中学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

本校は昭和22年に開校し、私鉄の4駅に囲まれた交通至便な住宅街にあり、現在は12学級、全校生徒361名の中学校である。敷地は風致地区内にあり、自然に溢れ、4月には校庭も一面の花で覆われる。校庭の竹林にはたくくさんのタケノコが生え、給食で春の香りを楽しんでいる。隣接して区民の憩いの場である公園を15分ほどで歩ける風光明媚な洗足池があり、運動会の長距離走ではここがコースとなっている。生徒たちはこの池にホテルを自生させる活動に取り組み、毎年その風情を地域の方から喜ばれている。また、落ち葉を集めて作ったミニコンポスト、夏の陽射しをささげるゴーヤのグリーンカーテン、さらに近隣の大岡山駅の駅前花壇作り等もしている。教育目標は○気品のある生徒の育成 ○美力のある生徒の育成 ○健康の優れた生徒の育成の3つを掲げている。教育活動は、2011年にユネスコスクールに加盟し、地域を「屋根のない学校」として捉え、地域の人々と共に、地域の人としてをモットーに地域の中で、地域の人々と共に、環境を保全する環境教育や、災害に立ち向かう場所としての防災教育を中心に、国際理解・交流教育、地域連携教育、人権・人命尊重・平和教育を行い、生徒の自己有用感、自己肯定感を育んでいる。自分の育った地域に愛着を持ち、郷土愛を育み、将来の日本、世界の様々な課題を考案解決して、心豊かに生きていく基盤となる教育実践を行うことで、20年・30年後の持続可能な社会の担い手を育てる持続発展教育(ESD)を推進している。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 6 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 目標に対する成果指標, 成果評価, 学校関係者記入欄. The table contains detailed self-evaluation data for various categories like '学力向上', '豊かな心を育む', '体力向上', '教育環境向上', and '家庭・地域の教育力向上'.

- 「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である B：自己評価はおおむね適切である C：自己評価は適切ではない D：評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。